

高等学校 令和5年度（1学年） 教科

芸術

科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I

単位数：70 単位：2

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：

使用教科書：『高校生の音楽1』（教育芸術社）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配当 時数		
			歌	器	創								
1 学期	ガイダンス	・学校や授業の価値 ・学習内容 ・目標と評価									○	2	
	1 歌唱 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音高や音価、強弱を意識しながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に歌唱表現の基礎を身に付けようとする。	指導項目 ・読譜 ・リズム読み ・発声の基礎 ・発声や発音と、それらの働きとの関わり ・歌詞の抑揚と音楽の構造との関わり ・音楽記号の意味とそれらの働きとの関わり ・著作権と社会生活	○			○				○	○	○	12
	2 ギター 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・両手の使い方に注目しながら他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的にギターの基礎を身に付けようとする。	指導項目 ・読譜 ・リズム読み ・楽器の歴史や構造、扱い方 ・TAB譜の読み方 ・基本的な奏法（開放弦、音階等）		○		○				○	○	○	10
	1 歌唱 【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 ・重唱や合唱による歌唱表現の特徴を理解する。 ・他者との調和を意識して歌ったり重唱や合唱の特徴を生かして歌ったりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫したり、他者の演奏を、	指導項目 ・発声の基礎 ・和音の種類と、合唱にふさわしい歌い方 ・曲にふさわしい発声や発音と、それらの働きとの関わり ・伴奏の働きと歌との関わり	○			○				○	○	○	10

2 学 期	<p>根拠を持って評価したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に曲想を生かした表現を生み出そうとする。</p>					<p>【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に曲想を生かした表現を生み出そうとしている。</p>						
	<p>2 ギター 【知識及び技能】 ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・強弱やテンポ、音色についてイメージをもってギターの演奏を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に、自分なりのイメージをもって表現しようとする。</p>	<p>指導項目 ・基本的な奏法（アルペジオ等） ・強弱やテンポ、音色の表現上の効果 ・曲にふさわしい強弱やテンポ、音色や、そのための右手の使い方</p>				<p>【知識及び技能】 ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・強弱やテンポ、音色についてイメージをもってギターの演奏を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に、自分なりのイメージをもって表現しようとしている。</p>					10	
	<p>3 箏 【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって箏の演奏を創意工夫したり、他者の演奏を根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に箏の基礎を身に付けようとする。</p>	<p>指導項目 ・楽譜の読み方 ・楽器の歴史や構造、扱い方 ・基本的な奏法 ・強弱やテンポの表現上の効果</p>				<p>【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって箏の演奏を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に箏の基礎を身に付けようとしている。</p>					10	
3 学 期	<p>1 鑑賞 【知識】 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりや、我が国の音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値や、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさについて自ら味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解したり、音楽のよさや美しさについて味わったりする。</p>	<p>指導項目 ・日本音楽（雅楽、声明、琵琶楽、尺八）の種類や歴史、音楽の特徴、芸能同士の関わり</p>				<p>【知識】 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりや、我が国の音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値や、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさについて自ら味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に音楽の特徴や文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解したり、音楽のよさや美しさについて味わったりしている。</p>					10	
	<p>2 創作（箏を用いて） 【知識及び技能】 ・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して旋律を作ったり、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって創作活動を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的にようとする。</p>	<p>指導項目 ・基本的な作曲技法とそれらの働き ・簡単な旋律の創作やその変奏</p>				<p>【知識及び技能】 ・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して旋律を作ったり、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己のイメージをもって創作活動を創意工夫したり、他者の演奏を、根拠をもって評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的・協働的に箏の基礎を身に付けようとしている。</p>					8	
											合計	70